

第 125 期

# 中間事業報告書

平成19年 4 月 1 日から  
平成19年 9 月30日まで



ISO9001 認証  
JQA-1050



ISO14001 認証  
JQA-EM0365

大阪府東大阪市四條町12番8号

株式会社 ロブテックス



## 株主のみなさまへ

株主のみなさまには、ますますご清栄のこととおよろこび申し上げます。

さて、ここに第125期の中間事業報告書をお届けいたしますので、ご高覧たまわりますようお願い申し上げます。



当中間期のわが国経済は緩やかな景気拡大基調が続いておりますものの、引き続き原油や原材料の価格上昇に加え、米国のサブプライムローン問題等による為替相場や株価の急激な変動など、先行きに不透明感が高まる状況となりました。

このような情勢の中、当社グループは創業120年にあたります2008年に『いい会社を目指して』を目標に、事業部制を機軸とした生産の効率化とコストダウンを図りますと共に、技術部門を統合したR&Dセンターを充実させ、有望商品開発のスピード化とお客様へのアフターサービスを強力に推し進めてまいりました。

その結果、当中間期の連結売上高は30億6千8百万円（前年同期29億7千5百万円）と前年同期比3.1%の増加となりましたが、利益面では過年度に退職給付信託に拠出したしました有価証券の大幅な時価下落による退職給付費用の増加等により、営業利益は同68.0%減の6千万円（同1億8千8百万円）、経常利益は同88.0%減の1千7百万円（同1億4千3百万円）となりました。また、特別損失におきまして役員退職慰労引当金繰入額が発生し、遺憾ながら9千1百万円の間純損失（同8千9百万円の純利益）となりました。

事業別の概要は次のとおりです。

### <金属製品事業>

国内売上におきましては価格競争の激化等により切削工具事業では苦戦を強いられておりますが、ハンドツール事業におきましてはモンキレンチが堅調に推移いたしますと共に新商品投入により電設工具が伸張いたしました。ファスニング事業では新商品の市場への浸透の遅れはありましたものの、自動車関連向けにハンドリベッターが増加し、国内売上は前年同期に比べ2.2%増加の24億5千7百万円（前年同期24億4百万円）となりました。海外売上におきましてはファスニング事業における北米住宅市場低迷によるリベッター類の減少はありましたが、ハンドツール事業では韓国向けにモンキレンチ等の売上が伸張し、4億7千8百万円（同4億5千3百万円）と前年同期に比べ5.5%増加しました。その結果、金属製品事業の合計売上高は前年同期比2.7%増の29億3千6百万円（同28億5千7百万円）となりましたが、営業損益は企業体質強化施策の継続により実質的には販売費及び一般管理費が前年同期に比べ減少いたしましたものの、過年度に退職給付信託に拠出したしました有価証券の大幅な時価下落による退職給付費用の増加や原材料や仕入商品の価格上昇、将来につながる新商品開発投資などの影響により、1千1百万円の営業損失（同1億3千7百万円の営業利益）となりました。

### <レジャー事業（ゴルフ練習場）>

売上高につきましては入場者数が増加し、前年同期比12.7%増の1億3千2百万円（前年同期1億1千7百万円）となりました。営業利益は増収効果等により同40.9%増の7千2百万円（同5千

1百万円)となりました。

今後の経済情勢は緩やかな景気拡大基調の持続が見込まれますものの、企業間競争は更に激しさを増し、原材料価格の上昇や株式市況の大幅な変動も懸念され、経営環境は依然として厳しい状況が続くものと考えております。

このような見通しの中、当社グループは創業120年にあたります2008年に『いい会社を目指して』を目標に、鳥取ロブスターツール株式会社では生産の効率化を目的に自動化設備等を導入いたしますと共に、生産と直結した物流体制構築とコストダウンを図るため物流設備を導入し、物流業務を当社から移管いたします。また、「顧客満足の獲得」の更なる追求を目的にお客様サービス本部の新設や経営企画室及び購買部門の機能強化を行い、経営効率の向上を図ってまいります。

通期業績といたしましては、中間期の実績と前述の見通しを踏まえ、売上高で65億4千万円、営業利益で3億4千万円、経常利益で2億4千万円、当期純利益で1億円を見込んでおります。

なお、期末の配当金につきましては、1株当たり10円を予定しております。

株主のみなさまには、変わらぬご支援、ご指導をたまわりますようお願い申し上げます。

平成19年12月

代表取締役社長

木村士郎

## 新製品ニュース

# エビ印ハンドドレッサ —SHD001—



使用例シール用

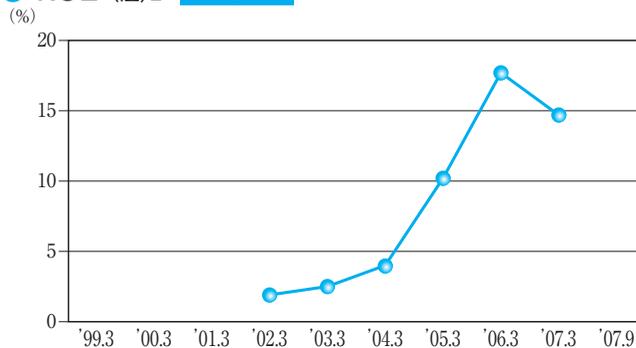
両頭グラインダー用砥石の目立て、  
角出し、振れ取り用

# 重点経営指標

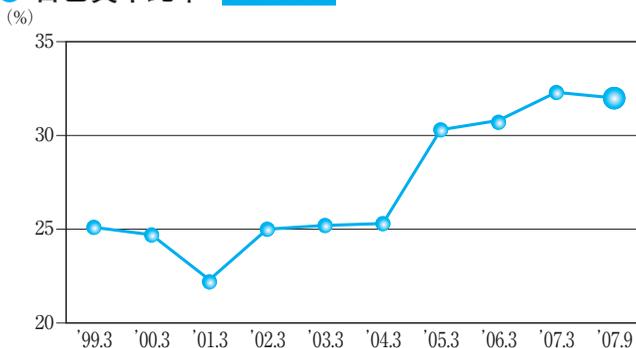
● ROA (注)1 目標値12.0%



● ROE (注)2 目標値15.0%



● 自己資本比率 目標値40.0%



● 債務償還年数 (注)3 目標値3.0年



● 売上高増加率 目標値5.0%



● 棚卸資産回転期間 目標値1.7年



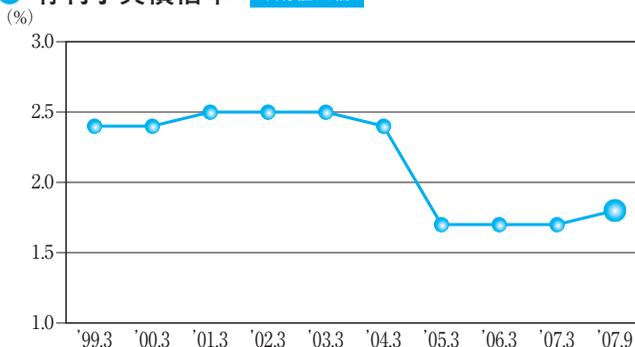
● **経常利益率** 目標値10.0%



● **EPS (1株当たり当期純利益)** (注)4 目標値40.0円



● **有利子負債倍率** 目標値0.8倍



- (注) 1. '07年9月中間期につきましては、営業利益・当期純利益を年額に換算するため、同利益を2倍して算出しております。
2. '99年3月～'01年3月及び'07年9月中間期につきましては純損失を計上しておりますので、データの記載をしておりません。
3. '02年3月は、金融機関の休日による手形決済日ズレ等の影響により、異常値となっているため、指数を除外しております。  
'06年3月及び'07年3月は資金の流れの効率化と手形取引に伴う非効率な業務の排除を目的とした支払の現金化実施による仕入債務の減少等により、一時的に営業キャッシュ・フローが悪化し、マイナス値となっているため、表示しておりません。  
'07年9月中間期は役員退職慰労金の発生等により、営業キャッシュ・フローがマイナス値となっているため、表示しておりません。
4. '07年9月中間期につきましては当期純利益を年額に換算するため、同利益を2倍して算出しております。

指 標	算 定 方 法
ROA (総資産営業利益率)	営業利益 / 総資産
ROE (自己資本純利益率)	当期純利益 / 自己資本
経常利益率	経常利益 / 売上高
売上高増加率	売上増加高 / 前期売上高
自己資本比率	純資産 / 総資産
債務償還年数	有利子負債 / 営業キャッシュ・フロー
有利子負債倍率	有利子負債 / 純資産
棚卸資産回転期間	棚卸資産 / 月平均売上高
EPS (1株当たり当期純利益)	当期純利益 / 期中平均発行済株式数

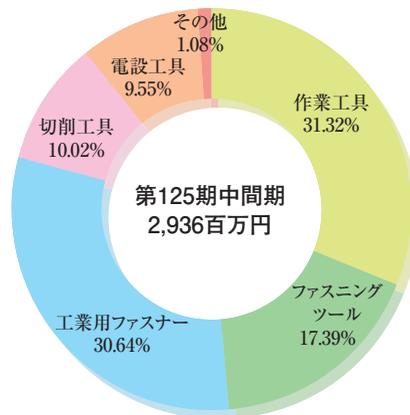
# 連結業績の推移

## ● 営業成績

区分	第118期 (平成13年 3月期)	第119期 (平成14年 3月期)	第120期 (平成15年 3月期)	第121期 (平成16年 3月期)	第122期 (平成17年 3月期)	第123期 (平成18年 3月期)	第124期 (平成19年 3月期)	第125期 中間期 (平成19年 9月期)
売上高 (百万円)	5,706 (2,721)	5,171 (2,621)	5,034 (2,337)	5,454 (2,618)	5,765 (2,729)	5,992 (2,934)	6,167 (2,975)	(3,068)
経常損益 (百万円)	30 (△20)	△54 (△27)	10 (2)	228 (73)	366 (145)	384 (98)	203 (143)	(17)
当期純損益 (百万円)	△420 (10)	38 (△15)	47 (△68)	73 (13)	192 (62)	353 (149)	358 (89)	(△91)
1株当たり 当期純損益 (円)	△36.35 (0.93)	3.31 (△1.38)	4.23 (△5.97)	6.90 (1.21)	17.26 (6.15)	35.47 (15.86)	37.24 (9.50)	(△9.34)

(注) ( ) は中間期の数値であります。

## ● 金属製品事業における品種別の売上高構成比



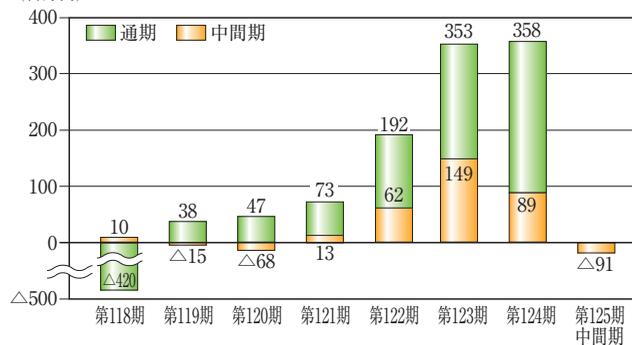
## ● 売上高

(百万円)



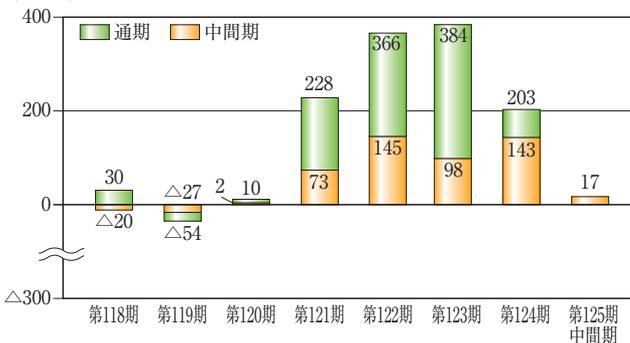
## ● 当期純損益

(百万円)



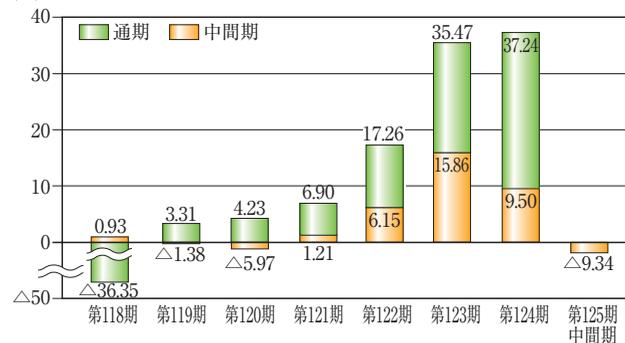
## ● 経常損益

(百万円)



## ● 1株当たり当期純損益

(円)



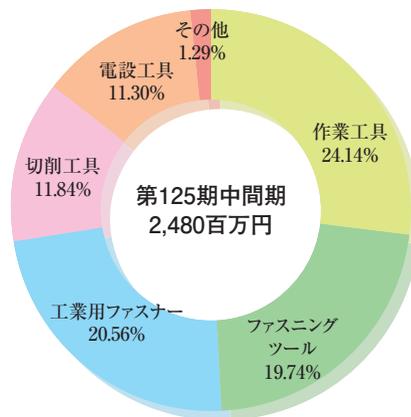
# 単独業績の推移

## ● 営業成績

区分	第118期 (平成13年 3月期)	第119期 (平成14年 3月期)	第120期 (平成15年 3月期)	第121期 (平成16年 3月期)	第122期 (平成17年 3月期)	第123期 (平成18年 3月期)	第124期 (平成19年 3月期)	第125期 中間期 (平成19年 9月期)
売上高 (百万円)	5,386 (2,554)	4,772 (2,478)	4,280 (1,988)	4,529 (2,167)	4,734 (2,277)	4,829 (2,377)	4,958 (2,412)	(2,480)
経常損益 (百万円)	103 (10)	76 (31)	118 (58)	240 (91)	274 (116)	315 (80)	127 (101)	(△24)
当期純損益 (百万円)	△ 945 (△687)	129 (36)	114 (△39)	87 (30)	134 (42)	145 (42)	212 (54)	(△59)
1株当たり 当期純損益 (円)	△82.25 (△59.77)	11.29 (3.14)	10.17 (△3.44)	8.18 (2.77)	11.50 (4.14)	13.34 (4.54)	22.11 (5.76)	(△6.04)

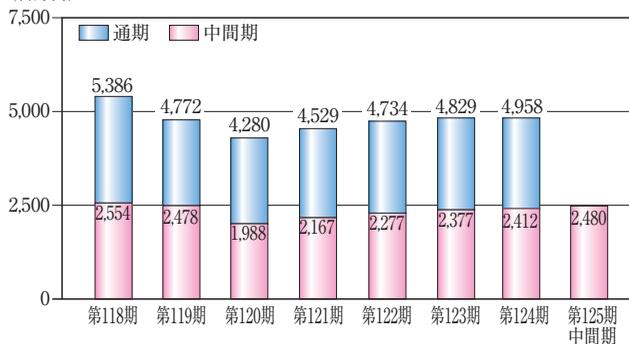
(注) ( ) は中間期の数値であります。

## ● 品種別の売上高構成比



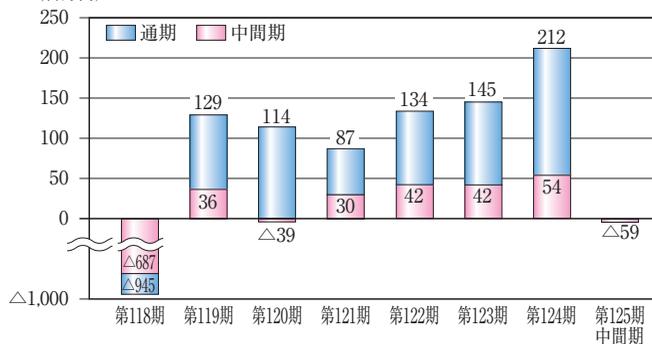
## ● 売上高

(百万円)



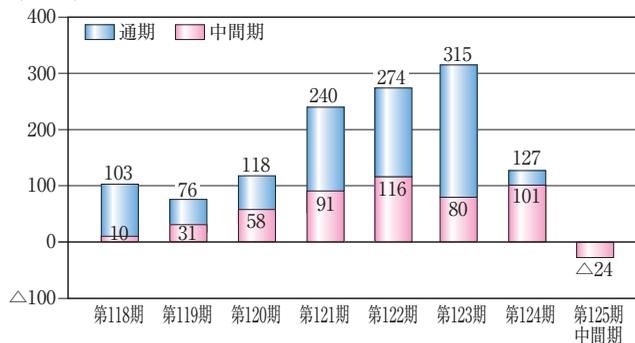
## ● 当期純損益

(百万円)



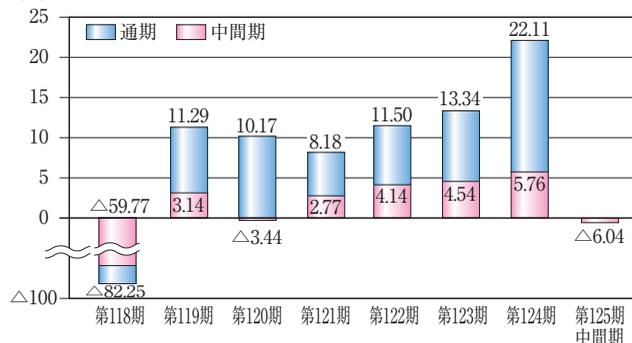
## ● 経常損益

(百万円)



## ● 1株当たり当期純損益

(円)



# 中間連結財務諸表

## ● 中間連結貸借対照表

平成19年9月30日現在

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	3,864,668	流動負債	3,638,611
現金及び預金	773,902	買掛金	226,930
受取手形及び売掛金	957,805	短期借入金	3,012,973
たな卸資産	1,712,842	その他	398,707
繰延税金資産	94,976	固定負債	1,000,374
その他	325,203	社債	800,000
貸倒引当金	△ 62	長期借入金	152,988
固定資産	2,972,029	退職給付引当金	15,128
有形固定資産	2,727,605	役員退職慰労引当金	31,265
建物及び構築物	1,630,321	預り保証金	992
機械装置及び運搬具	120,922	負債の部合計	4,638,985
土地	862,655	(純資産の部)	
その他	113,705	株主資本	2,164,369
無形固定資産	9,408	資本金	960,000
投資その他の資産	235,016	資本剰余金	541,520
投資有価証券	112,959	利益剰余金	861,352
その他	137,015	自己株式	△ 198,502
貸倒引当金	△ 14,957	評価・換算差額等	28,557
繰延資産	12,413	その他有価証券評価差額金	28,557
社債発行費	12,413	少数株主持分	17,198
資産の部合計	6,849,111	純資産の部合計	2,210,125
		負債及び純資産合計	6,849,111

(注) 記載金額は千円未満を切捨てて表示しています。

## ● 中間連結損益計算書

平成19年4月1日から  
平成19年9月30日まで

(単位：千円)

科 目	金 額	
売上高		3,068,985
売上原価		2,083,394
売上総利益		985,590
販売費及び一般管理費		925,143
営業利益		60,446
営業外収益		
受取配当金	1,560	
その他	20,932	22,493
営業外費用		
支払利息	26,993	
売上割引	29,217	
その他	9,606	65,818
経常利益		17,122
特別損失		
固定資産除却損	897	
過年度役員退職慰労引当金繰入額	93,535	94,432
税金等調整前中間純損失		77,310
法人税、住民税及び事業税	24,535	
法人税等調整額	△ 9,882	14,653
少数株主損失		459
中間純損失		91,503

(注) 記載金額は千円未満を切捨てて表示しています。

● 中間連結キャッシュ・フロー計算書 平成19年4月1日から  
平成19年9月30日まで

(単位：千円)

科 目	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 17,818
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 58,646
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 323,745
現金及び現金同等物の増加額	△ 400,211
現金及び現金同等物の期首残高	1,074,113
現金及び現金同等物の中間期末残高	673,902

(注) 記載金額は千円未満を切捨てて表示しています。

● 中間連結株主資本等変動計算書

平成19年4月1日から  
平成19年9月30日まで

(単位：千円)

	株 主 資 本				株主資本合計	評価・換算差額等		少数株主持分	純資産合計
	資 本 金	資本剰余金	利益剰余金	自 己 株 式		その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計		
平成19年3月31日残高	960,000	541,520	1,051,198	△ 182,528	2,370,190	48,111	48,111	17,676	2,435,979
中間連結会計期間中の変動額									
剰余金の配当			△ 98,342		△ 98,342				△ 98,342
中間純損失			△ 91,503		△ 91,503				△ 91,503
自己株式の取得				△ 15,974	△ 15,974				△ 15,974
株主資本以外の項目の 中間連結会計期間中の 変動額(純額)						△ 19,554	△ 19,554	△ 478	△ 20,033
中間連結会計期間中の変動額合計	—	—	△ 189,846	△ 15,974	△ 205,820	△ 19,554	△ 19,554	△ 478	△ 225,853
平成19年9月30日残高	960,000	541,520	861,352	△ 198,502	2,164,369	28,557	28,557	17,198	2,210,125

(注) 記載金額は千円未満を切捨てて表示しています。

● 子会社

会 社 名	株式会社ロプテックスファスニングシステム	鳥取ロプスターツール株式会社	株式会社ロプエース
設 立	昭和63年7月2日	平成2年12月6日	平成3年8月8日
資 本 金	1,000万円	5,000万円	5,000万円
住 所	東京都中央区日本橋堀留町1-5-11 堀留Dビル7階	鳥取県西伯郡大山町高田1213番地1	大阪府八尾市上尾町6丁目1番地
事 業 内 容	ファスニングツール 工業用ファスナー卸売業	金属製品製造業	ゴルフ練習場
代 表 者	代表取締役社長 木村士郎	代表取締役社長 木村士郎	代表取締役社長 平田正紘

# 中間単独財務諸表

## ● 中間単独貸借対照表

平成19年9月30日現在

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	3,198,048	流動負債	3,391,609
現金及び預金	700,233	買掛金	145,755
受取手形	43,625	短期借入金	3,012,973
売掛金	748,963	その他	232,880
たな卸資産	981,978	固定負債	984,645
繰延税金資産	123,978	社債	800,000
その他	599,323	長期借入金	152,988
貸倒引当金	△ 54	役員退職慰労引当金	31,265
		その他	392
固定資産	3,339,326	負債の部合計	4,376,254
有形固定資産	2,633,494	(純資産の部)	
建物	1,211,118	株主資本	2,144,900
構築物	386,886	資本金	960,000
機械及び装置	108,926	資本剰余金	541,520
土地	859,775	資本準備金	491,045
その他	66,786	その他資本剰余金	50,475
無形固定資産	6,181	利益剰余金	841,882
投資その他の資産	699,651	利益準備金	176,019
長期貸付金	834,478	その他利益剰余金	665,863
その他	318,363	別途積立金	475,000
貸倒引当金	△ 453,190	繰越利益剰余金	190,863
繰延資産	12,413	自己株式	△ 198,502
社債発行費	12,413	評価・換算差額等	28,634
		その他有価証券評価差額金	28,634
資産の部合計	6,549,789	純資産の部合計	2,173,534
		負債及び純資産の部合計	6,549,789

(注) 記載金額は千円未満を切捨てて表示しています。

## ● 中間単独損益計算書

平成19年4月1日から  
平成19年9月30日まで

(単位：千円)

科 目	金 額	
売上高	2,480,640	
売上原価	1,716,695	
売上総利益	763,944	
販売費及び一般管理費	757,082	
営業利益	6,861	
営業外収益		
受取利息	7,343	
受取家賃	16,627	
その他の	8,946	32,917
営業外費用		
支払利息	26,993	
売上割引	29,606	
その他の	7,988	64,589
経常損失	24,809	
特別利益		
貸倒引当戻入益	36,019	36,019
特別損失		
固定資産除却損	245	
過年度役員退職慰労引当金繰入額	93,535	93,780
税引前中間純損失	82,571	
法人税、住民税及び事業税	3,400	
法人税等調整額	△ 26,784	△ 23,384
中間純損失	59,186	

(注) 記載金額は千円未満を切捨てて表示しています。

## ● 中間単独株主資本等変動計算書

平成19年4月1日から  
平成19年9月30日まで

(単位：千円)

	株 主 資 本					評価・換算差額等		純資産合計
	資 本 金	資本剰余金	利益剰余金	自 己 株 式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
平成19年3月31日残高	960,000	541,520	999,411	△ 182,528	2,318,404	48,146	48,146	2,366,550
中間会計期間中の変動額								
剰余金の配当			△ 98,342		△ 98,342			△ 98,342
中間純損失			△ 59,186		△ 59,186			△ 59,186
自己株式の取得				△ 15,974	△ 15,974			△ 15,974
株主資本以外の項目の 中間会計期間中の 変動額(純額)						△ 19,512	△ 19,512	△ 19,512
中間会計期間中の変動額合計	—	—	△ 157,529	△ 15,974	△ 173,503	△ 19,512	△ 19,512	△ 193,016
平成19年9月30日残高	960,000	541,520	841,882	△ 198,502	2,144,900	28,634	28,634	2,173,534

(注) 記載金額は千円未満を切捨てて表示しています。

# 会社の概要

平成19年 9月30日現在

設立 大正12年 8月12日  
資本金 960,000,000円  
発行済株式総数 10,500,000株  
本店所在地 東大阪市四条町12番 8号  
従業員数 160名  
製造販売品目 作業工具  
ファスニングツール  
電設工具  
切削工具  
工業用ファスナー

## 事業所

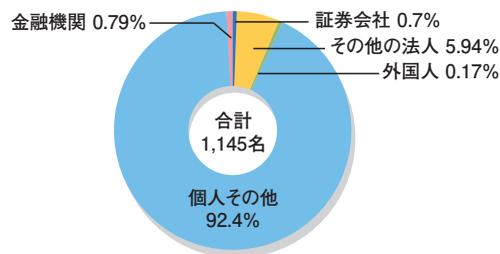
本社／東大阪市四条町12番 8号 (〒579 - 8053)  
☎072-980-1110(代)  
大阪営業所／東大阪市四条町12番 8号 (〒579 - 8053)  
☎072-980-1111(代)  
東京営業所／東京都板橋区高島平 2丁目 6番 4号 (〒175 - 0082)  
☎03-3550-3671(代)  
名古屋営業所／名古屋市中区八竜町 1丁目 40番地 (〒462 - 0805)  
☎052-915-0431(代)  
福岡営業所／福岡市博多区山王 1丁目 7番 9号 (〒812 - 0015)  
☎092-431-0395(代)  
物流センター／東大阪市四条町 7番 9号 (〒579 - 8053)  
☎072-981-3664(代)

## 営業事務所

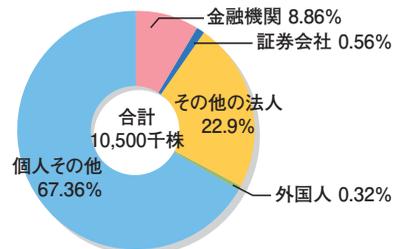
札幌事務所／仙台事務所／盛岡事務所／伊勢崎事務所  
横浜事務所／金沢事務所／高松事務所／広島事務所

## 株式の状況

発行可能株式総数 45,000千株  
発行済株式総数 10,500千株  
株主総数 1,145名  
所有者別



## 所有数別



## 役員

取締役社長 (代表取締役)	木村士郎
取締役	米川修平
取締役	木村誠治
取締役	林邦男
取締役	行俊直彦
監査役(常勤)	田中喜彦
監査役	稲垣貞男
監査役	大森利治

エビ印工具



LOBSTER®



株 主 メ モ

事業年度  
定時株主総会  
基準日

4月1日から翌年3月31日まで  
毎年6月に開催いたします。  
定時株主総会の議決権 3月31日  
期 末 配 当 3月31日  
中 間 配 当 9月30日  
※その他必要がある場合は、あらかじめ公告する一定の日

公 告 方 法

電子公告により行います。  
<http://www.lobtex.co.jp/lobtex/ir/>  
ただし、電子公告によることができないやむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載いたします。  
なお、当社の貸借対照表ならびに損益計算書は、EDINET（金融商品取引法に基づく有価証券報告書等の開示書類に関する電子開示システム）にて開示しております。

株主名簿管理人

大阪市中央区北浜二丁目4番6号

同事務取扱場所

株式会社だいこう証券ビジネス  
株式会社だいこう証券ビジネス 本社証券代行部  
〒541-8583 大阪市中央区北浜二丁目4番6号  
電話 フリーコール 0120-255-100

同 取 次 所

株式会社だいこう証券ビジネス全国各支社